詩の種類と表現

詩の種類

詩は、作者の思いや感動などをリズムをもつ言葉で表現したもので、比較的短い言葉で表現されることが多い。詩にはさまざまな種類があるが、言葉・形式・内容に注目すると、次のように分けられる。

言葉	**文語詩**…昔の書き言葉（文語）を用いた詩。 **口語詩**…現代の話し言葉（口語）を用いた詩。
形式	**定型詩**…音数に一定のきまりがある詩。 **自由詩**…音数に定型などのきまりがない詩。 **散文詩**…普通の文章のように書かれた詩。
内容	**叙情詩**…作者の感情をうたった詩。 **叙景詩**…自然の風景をうたった詩。 **叙事詩**…神話や歴史的事件をうたった詩。

韻文・散文

言葉や音数に一定の規則やリズムをもつ文を**韻文**といい、韻文ではない普通の文章を**散文**という。多くの詩は韻文に含まれる。

・韻文…（大部分の）詩、短歌、俳句など。
・散文…説明、論説、物語、小説、随筆など。

表現

多くの詩は、一文を短く**行分け**し、リズムや感動を表現する。また、一つの詩を内容で分けたまとまりを**連**といい、一行空けて区切られていることが多い。

●主な表現技法

・**比喩**…ある物事を、似たところのある別の物事を使って表現する。
　直喩（明喩）…「まるで～」「～ようだ」などの言葉を使う。
　隠喩（暗喩）…「まるで～」「～ようだ」などの言葉を使わない。
　擬人法…人でないものを人に見立てる。
・**体言止め**…文末を体言（名詞）で止める。
・**倒置**…普通の言葉の並べ方から、語順を入れ替える。
・**対句**…言葉を、形や意味が対応するように並べる。
・**反復**…同じ言葉を繰り返す。
・**省略**…文章を途中で止め、後の言葉を省く。

確認テスト

(1) 次の詩の種類に当てはまるものを二つ選びなさい。

虫　八木重吉

虫がないている
いま　ないておかなければ
もう駄目だというふうにないている
しぜんと
涙をさそわれる

ア 文語詩　イ 口語詩
ウ 定型詩　エ 自由詩　オ 散文詩

〔　　・　　〕

(2) 次の説明に当てはまるものをそれぞれア〜ウから選びなさい。

① 自然の風景をありのままにうたった詩。
② 神話や歴史的な事件などをうたった詩。
③ 作者の感動や心の動きをうたった詩。

ア 叙事詩　イ 叙情詩　ウ 叙景詩

①〔　　〕②〔　　〕③〔　　〕

(3) 次の各文で用いられている比喩の種類をそれぞれア〜ウから選びなさい。ただし同じ記号を二度使ってはならない。

① 言葉は人と人の間の橋だ。
② 言葉はまるで人と人の間の橋のようだ。
③ 太陽が笑っている。

ア 直喩　イ 隠喩　ウ 擬人法

①〔　　〕②〔　　〕③〔　　〕

(4) 次の各文に含まれる表現技法として適当なものをそれぞれア〜ウから選びなさい。

① 花が咲く。花が咲く。
② 花が咲いている。鳥が飛んでいる。
③ 咲いている、さくらの花が。

ア 倒置　イ 対句　ウ 反復

①〔　　〕②〔　　〕③〔　　〕